

1. 整備計画													
計画の名称	快適にヒト・モノが行き交う“ふじのくに”のみちづくり												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和3年度			交付対象	静岡県, 袋井市, 富士市, 御前崎市, 焼津市, 伊豆市, 磐田市, 森町, 東伊豆町								
計画の目標	地域の拠点間を結ぶ道路のネットワーク構築や渋滞対策を推進し、快適な走行環境を整備することにより、産業活動や地域の生活の支援および交流の拡大を図る。												
計画の成果目標 (定量的指標)	静岡県全体での旅行速度向上による時間価値を、0万円/台・年 から、14.1万円/台・年 に向上させる。												
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考		
① (評価時点での時間価値向上) = (評価時点での追加整備延長)/(評価時点での旅行速度の総向上) × (時間価値原単位(乗用車))	当初現況値	中間目標値		最終目標値		備考							
	(H28当初)			(R3末)									
	0万円/台・年 0.0%			14万円/台・年 100.0%									
②													
③													
全体事業費	合計 (A+B+C)	17,732 百万円	A	17,732 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%			
事業種別	主な交付 対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)			市町名	全体事業費 (百万円)	備考			
道路		(国) 469号 御殿場バイパス			バイパス 0.9km			御殿場市	950				
事業数		(主) 吉田大東線 南原			バイパス 0.7km			島田市	1,810				
54		(国) 473号 地藏峠IIバイパス			バイパス 0.4km			島田市	1,300				
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)													
計画の移行なし	○	18	△	35	—	0	備考	-	計画の移行あり	●	0	▲	1
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		拠点間を結ぶ道路ネットワークの構築や渋滞対策を実施し、快適な走行環境を整備することで、旅行速度が向上し時間価値が上昇した。											
II 定量的指標の達成状況	指標① (評価 時点での時間 価値向上)	最終目標値	14.1万円/台・年 100.0%		目標値と実績 値に差が出た 要因	計画的な事業執行により、道路整備が進捗し計画期間内に目標以上の整備効果を発現することができた。							
		最終実績値	16.8万円/台・年 119.1%										
	指標② ()	最終目標値			目標値と実績 値に差が出た 要因								
		最終実績値											
	指標③ ()	最終目標値			目標値と実績 値に差が出た 要因								
		最終実績値											
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況		現道を利用していた交通車両が完成したバイパスへ転換され、現道の交通量が減ることで、現道沿いにある小中学校へ通学する児童の安全性確保に寄与した。											
4. 今後の方針等													
引き続き、「快適にヒト・モノが行き交う“ふじのくに”のみちづくり(第2期)」として(主)吉田大東線ほかの道路整備を推進していく。													

(1) 事業の目的

地域の拠点間を結ぶ道路のネットワーク構築や渋滞対策を推進し、快適な走行環境を整備することにより、産業活動や地域の生活の支援および交流の拡大を図る。

(2) 指標

静岡県全体での旅行速度向上による時間価値を14.1(万円/台・年)向上させること。

$$\text{整備区間の完成・供用率} = \frac{\text{評価時点の追加整備延長}}{\text{評価時点での旅行速度の総向上}} \times \text{時間価値原単位（乗用車）}$$

指標の達成状況

令和3年度末の最終実績値は16.8万円/台・年であり、目標（14.1万円/台・年）を達成した。

計画の成果目標	定量的指標		
	H28当初	R3末最終目標	R3末最終実績
旅行速度向上による時間価値の向上	0万円/台・年	14.1万円/台・年 (100.0%)	16.8万円/台・年 (119.1%)

(3) 指標に関連する実施事例

A01-035（国）469号 御殿場バイパス

位置図



新設バイパス



写真②

新設バイパス



写真③

現道状況



写真①

(4) 定量指標以外の効果発現状況

現道を利用していた通行車両が完成したバイパスへ転換され、現道の交通量が減ることによって、現道沿いにある小中学校へ通学する児童の安全性確保に寄与した。

(5) 今後の方針と目標達成見込み

引き続き、「快適にヒト・モノが行き交う“ふじのくに”のみちづくり（第2期）」として（主）吉田大東線ほかの道路整備を推進していく。

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称 99. 快適にヒト・モノが行き交う“ふじのくに”のみちづくり

計画の期間 平成29年度～令和3年度（5箇年）

交付団体 静岡県、富士市、袋井市、御前崎市、焼津市、伊豆市、磐田市



【凡例】

	国道	県道	市町道	街路	有料道路
地方道路整備事業	●	●	●	●	●
関連社会資本整備事業	◇	◇	◇	◇	◇
効果促進事業	△	△	△	△	△

※その他関連する事業： 灰色の塗つぶし

